

世界への提言という新しい指針

令和6年8月22日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界への新しいプレゼンスは、競争と対立という西洋の価値観に対して、融和と統一という日本の指針を明示し、新しい世界という提言を求められる。

これら世界がこれら対立の構造へ完全に疲弊していることにおいて、新しい指針という提案は、東洋と西洋の融合や、全ての人種の融和における世界という可能性を提示できるのである。

これは日本という風土は完全に世界と相違するためであり、その相違する現実が未来を与えることができるということは存在するのである。

これらは忍耐という日本人の特性が、世界において称賛されることは存在するのである。これら美德が未来と世界を与えるという現実には真実なのである。

これらはコンプレックスでなく、対等な対話という新しい現実、閉塞感が支配する今日の世界に対してその新しい世界という提案を実現できるのである。

これらは世界の対立の構造へ、まったく新しい世界を提案することは、独自文化背景を否定するのではなく、自己の正論を提示し、世界の選択を求めることはできるのである。

パックスアメリカナの崩壊は、東洋から新しい未来を提示することが、パワーゲームからの脱却と世界のすべての国家が新しい未来を合意するという新しい現実へ転換することは可能なのである。

変化において未来における展望が今日の世界において見失われているという真実において、新しい未来の構築を提案することは、それら未来への合意を新しい世界とすることは可能なのである。

これらは唯一対立から融和への転換であり、世界の統一という新しい挑戦なのである。これらは日本と日本人の特性において世界がそれらを希求することは存在するのである。